

【現況】

＜新規陽性者の発生動向＞

① 新規陽性者の発生動向（11/26～12/2）は、前週比1.1倍と、これまでの取組みの効果により鈍化。

（参考）

- ・11/12～府民に対し、「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請 など
- ・11/21～イエローステージⅡに移行。

府民等に対し、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会は控えることや、重症化リスクの高い方（高齢者、基礎疾患のある方等）は、不要不急の外出を控えることなどを要請

② 一方で、発生規模は7日間移動平均で366名と引き続き幅広い世代で多数の感染者が発生。

直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数が29.01人と、国の分科会ステージⅣのモニタリング指標（25人）を11/22以降上回っている。

＜医療提供体制の状況＞

①重症病床使用率が、

- ・12/3以降、新規陽性者366名が日々発生すると仮定した場合、12/8に70%（大阪モデル「非常事態」の基準）を超過
- ・12/3以降、新規陽性者数が前週比1.2倍ずつ増加したと仮定した場合、12/7に70%を超過（資料1-2）

②病床の実運用率は、12/2時点で重症病床運用率81.4%、軽症中等症病床運用率61.3%

⇒**感染拡大傾向には歯止めがかかりつつあるが、引き続き、多数の感染者が幅広い年代で確認される一方、重症病床使用率が70%を超過すると見込まれることから、感染拡大を抑制し、医療提供体制への負荷を減らす必要がある。**